

演 研

第 一 号

平 成 六 年 三 月



馬搬風景（昭和31年、北海道演習林第9林班）

Y. WAKU

京都大学農学部附属演習林

『演習林研究』創刊にあたって

演習林研究は演習林技官のための活動成果発表誌である。演習林はその70年を越える歴史的経過の中で、あまたの優秀な技官を養成し、かつその技官達に支えられてきた。その点は現在でも変わらない。しかし、この30年間に起こった一般社会における科学技術および工業技術の進歩と社会・経済的変革は森林を取り巻く状況をも一変させてしまった。そして、今大学の技官に要求されているものは、高度の知識欲とたゆまない貪欲な技術革新への意欲と行動である。当然、演習林技官についても例外ではない。とくに昨今はコンピュータの進歩とそれを利用した諸機器に象徴されるように、技術的進歩の速度がいやがうえにも増大しており、これらを利用した机上作業の簡略化の程度も昔日とはくらべものにならない。しかし、その反面、これらのハードウェアを取り込んで十分に機能させるシステムの構築自体も技官の側で行わなければならないという負担の増加がある。また、それ以上に、本来の職務である演習林で行われる研究調査の面でも、また森林経営管理の面での森林調査、測量、計画、作業の実施などについても、従来のものに倍する精度が要求され、かつリアルタイムの動的な測定や作業行動が要求され、それだけに一層緻密な計画性が要求される。また、従来無かった炭酸ガス代謝や酸性雨などのような空気組成に関する計測や、果ては、鹿や熊などの野性動物に関する計測や知識まで要求される。このような実に多様な活動はこれを定期的に見返して整理をする必要がある。そうでなければ、折角の知識欲も技術革新への努力もただ徒に混迷の中を突っ走るだけの全くまともな成果もない技官活動になってしまう可能性を秘めている。一方、これを常に整理し記録しつければ、陥りがちの混迷を早期に脱することを容易にし、さらなる進歩への貴重な資料にもなり、またそのきっかけを造るものにもなりうる。

以上のように自分自身の計画や活動を整理し、公表し、見直すことはこれからの技官にとって極めて重要なことである。そのような役割の一部を分担する強力な支援誌として、ここに『演習林研究』の刊行が企画されたものである。今後、関係諸氏の努力によって、この演習林研究誌が技官の技術研鑽のよすがとなり、技術研究成果や研究支援成果の模範的公刊誌として育ってゆくことを期待する。

平成6年3月吉日

京都大学農学部附属演習林

林長 神崎 康一

演 研

第 一 号

目 次

林 英夫 石川 秀夫 二村 一男 藤井 弘明 菅原 哲二 柴田 泰征	上谷・下谷流量観測堰の取設	1
二村 一男	北海道演習林標茶区の鳥類センサス	5
大窪 勝 佐藤 修一 山根 大樹	野鼠の生息数調べについて	9
谷口 直文 上西 久哉 大窪 勝 佐藤 修一 山根 大樹	トドマツ人工林の成長について	12
大窪 勝 佐藤 修一 山根 大樹	北海道演習林標茶区造林地調査について—トドマツ・ アカエゾマツ・クロエゾマツ固定調査区2回の調査結果—	14
古本 浩望 渡辺 康弘	白糠区での酸性雨調査について	18
合田 好廣 牧瀬 明弘	カラマツパルプ材の現状について	21
谷口 直文 上西 久哉	林道路面流水の処理事例（北演標茶区8林班内）	24
浅野 善和 上西 謙次 境 慎二郎	サウンドパンチャーを用いた野生動物被害防除	27
松場 京子	八幡谷樹木園の樹木目録	31

松場 輝信	和歌山演習林材鑑目録	37
長谷川 孝 境 慎二郎 浅野 善和 上西 謙次 山田 幸三 松場 輝信	間伐を目的とした小幅員作業道	42
中根 勇雄 山内 隆之 光枝 和夫 藤本 博次 田中 弘之	上賀茂試験地におけるマツ枯れ — 秋枯れと持ち越し枯れ —	46
山内 隆之 中根 勇雄 田中 弘之 藤本 博次 光枝 和夫	オオゴンメタセコイアの実生苗について	48
山内 隆之 中根 勇雄 藤本 博次 田中 弘之 光枝 和夫	間伐後のモミジバフウ林のリターフォール	50
上中 幸治 上中 光子	スラッシュマツ壮齡林におけるリターフォール量の 季節変化について	53
上中 幸治 上中 光子	テーダマツ壮齡林におけるリターフォール量の 季節変化について	57
羽谷 啓造	大阪営林局産地別スギの植栽地による成長のちがひ	61
秋田 豊 中井 勇 北川新太郎	徳山試験地におけるマツノマダラカミキリの羽化消長	65
中井 勇 北川新太郎 秋田 豊	酸性雨調査から	69
紺野 絡 菅原 哲二 神垣 秀樹	演習林第2 標本室材鑑の燻蒸について	73

演 研

第 一 号

平成6年3月25日 印刷

平成6年3月31日 発行

編集兼
発行者 京都大学農学部附属演習林

印刷所 (株) 北 斗 プ リ ン ト 社

TeL 0 7 5 - 7 9 1 - 6 1 2 5

